

平成30年7月2日からの大雨による 出水の概要（速報版第2報）について

旭川開発建設部では、平成30年7月2日からの大雨に伴う石狩川水系石狩川の出水概要について、別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

今般、旭川開発建設部管内では、停滞する前線の影響により、流域内各地で激しい降雨がありました。

このため、当部が管理する河川では、石狩川水系石狩川の伊納観測所（旭川市）で「氾濫危険水位」（レベル4）を超える出水となりました。

しかしながら、当部でこれまで進めてきた河川整備や洪水調節施設により、出水時の水位低下が図られ、さらに、TEC-FORCEを速やかに派遣し、排水作業を行ったことにより、内水氾濫被害の軽減を図ることが出来ました。

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

治水課 課長 横田 尚之（電話番号 0166-32-4234）

流域計画官 高橋 賢司（電話番号 0166-32-1119）

旭川開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/as>

旭川開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit_hkd_as



平成30年7月2日からの大雨による出水の概要 (石狩川上流)

【速報版第2報】

※本速報に記載されている数値や図表は、平成30年7月4日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

国土交通省 北海道開発局
旭川開発建設部
平成30年7月4日

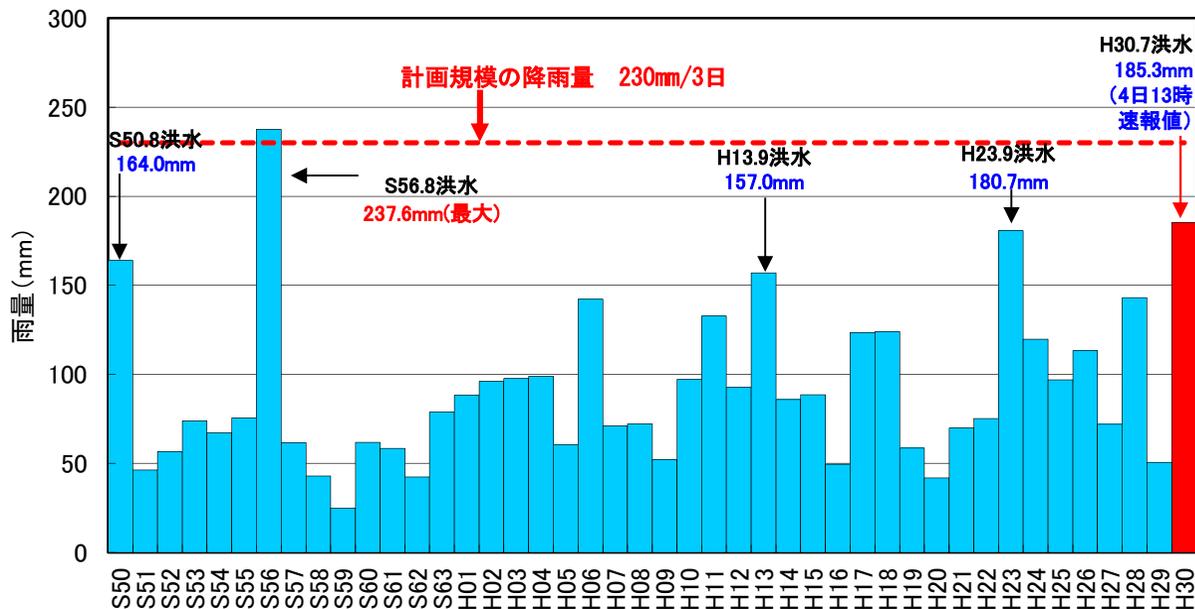
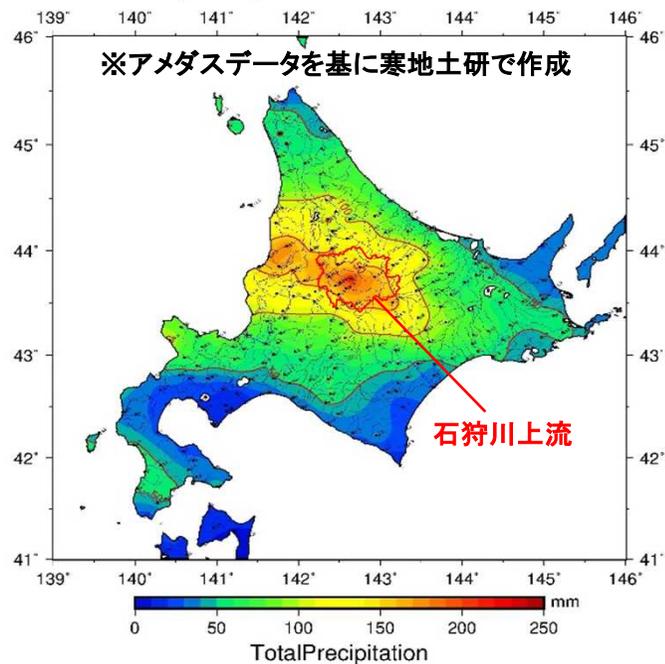
平成30年7月2日からの大雨による出水の概要(石狩川上流)

7月2日から深夜から3日にかけて、前線の活動により、上川・空知・留萌管内を中心に大雨となり、石狩川の上流部にも豪雨がもたらされ、旭川市(気象台)で144mm、伊納雨量観測所(国交省)で143mmを観測しました。この大雨により、旭川市神居古潭付近で一部浸水等の被害が発生しました。

旭川開発建設部では、大雪ダム、忠別ダムで防災操作を行った他(継続中)、永山新川により、牛朱別川の洪水流量を低減しました。

さらに、TEC-FORCEを速やかに派遣し、排水作業を行ったことにより、内水氾濫被害の軽減を図ることが出来ました。

72h total precipitation at 201807040800



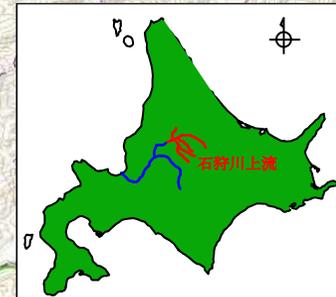
石狩川上流(伊納)における年最大流域平均雨量



平成30年7月2日からの大雨による出水の概要(石狩川上流 出水状況)

平成30年7月2日からの大雨により、石狩川上流の伊納水位観測所では、はん濫危険水位を超過し、旭川市及び東川町では避難勧告が発令され、一部浸水被害が発生しました。

位置図

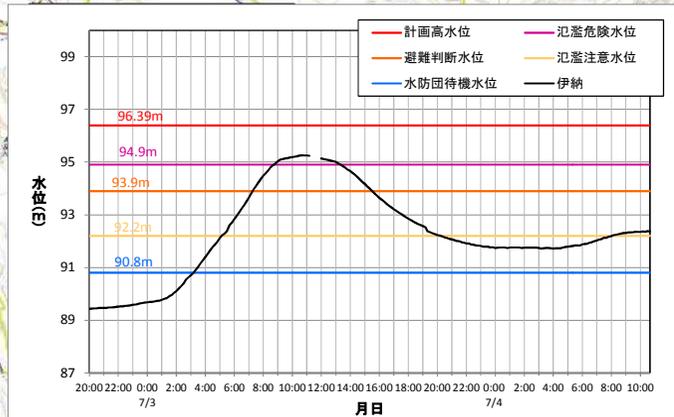


【基準水位を超過した観測所】

- **はん濫危険水位超過: 1観測所**
(石狩川)伊納
- **避難判断水位超過: 1観測所**
(石狩川)旭橋
- **はん濫注意水位超過: 5観測所**
(石狩川)中愛別
(牛朱別川)旭永橋、鹿島橋
(美瑛川)辺別太、西神楽
- **水防団待機水位超過: 7観測所**
(石狩川)上川
(忠別川)江卸、暁橋、大正橋
(美瑛川)西一区
(辺別川)18号
(永山新川)北永

【避難勧告の状況】

- 旭川市 江丹別春日、神居町神居
古潭、北5線、北7線
- 東川町 西10号北、西11号北、西
12号北



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

平成30年7月2日からの大雨による出水の概要(石狩川上流 被害状況)

平成30年7月2日からの大雨により、各地で内水被害が発生し、石狩川上流域では**約6.1ha**の浸水が確認されています。



春日排水樋門



滝見樋門下流



伊納第1樋門



伊納樋門



南1号排水樋門



南3号川排水樋門



チノミシリルイカ橋



神居第3樋門



第2新星樋門



辺別太第3排水樋管



忠和排水樋門



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

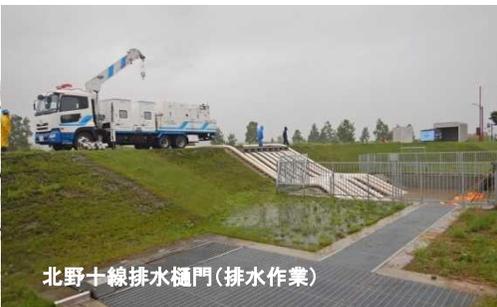
旭川開発建設部の取組（浸水被害軽減のための活動状況（内水排除））

平成30年7月2日からの大雨による出水を受け、速やかにTEC-FORCEを派遣し、内水被害箇所へ排水ポンプ車（3台）、ユニットポンプを派遣し、内水排除を実施しました。

石狩川水系 忠別川 左岸 1.0k



栄川樋門(排水作業)
北海道旭川市 忠別川右岸合流点



北野十線排水樋門(排水作業)



第2新星樋門(内水被害状況)



第2新星樋門(排水状況)



栄川樋門(排水作業)



美瑛第二排水樋門(排水作業)



参宮樋門(排水作業)



神居第3樋門(旭川市排水作業)



美瑛第二排水樋門(排水作業)

※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

治水事業の効果① 河道掘削が効果を発揮(北海道 石狩川 近文大橋地点)(国管理)

石狩川上流忠和地区では、旭川市街地における洪水被害の防止・軽減を目的に河道掘削を順次進めており、平成30年7月2日からの大雨による洪水では、河道掘削が効果を発揮し、石狩川(近文大橋地点)で約0.7mの水位低減効果があったと推測されます。仮に、河道掘削が実施されず、もし堤防が決壊した場合は約200haが浸水したと想定されます。

位置図



河道掘削箇所



河道掘削を実施しなかった場合に想定される被害



掘削による水位低減効果



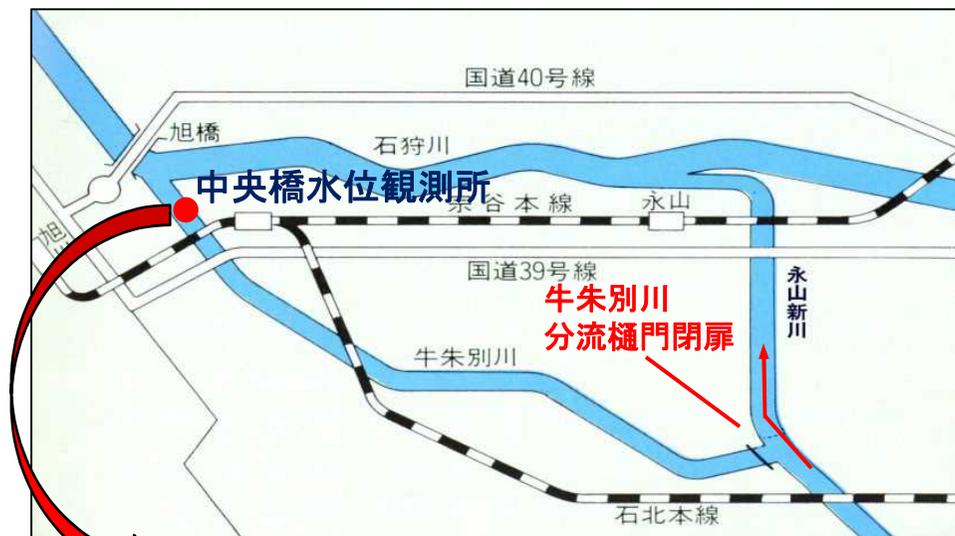
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

治水事業の効果② 分水路整備が効果を発揮(北海道 牛朱別川分水路)(国管理)

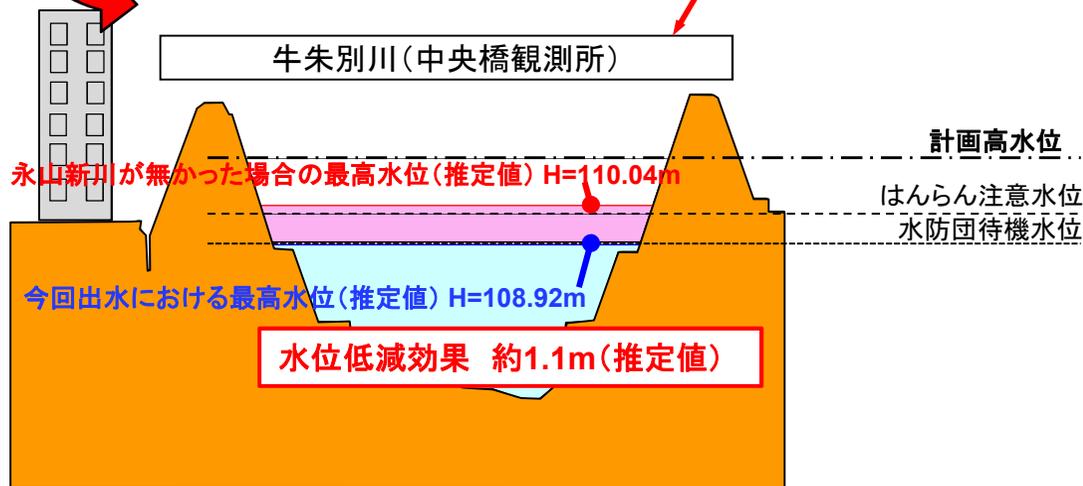
牛朱別川分水路(永山新川)は、下流市街地の洪水被害軽減を目的に平成16年に完成しています。

平成30年7月2日からの大雨による洪水では、牛朱別川分水路(永山新川)が効果を発揮し、牛朱別川(中央橋)で約1.1mの水位低減効果があったと推測されます。仮に牛朱別川分水路(永山新川)が整備されていなければ、はんらん注意水位を上回ったと推測されます。

位置図



永山新川による水位低減効果



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。